

## 京都府水道事業広域的連携等推進協議会(中部圏域)第1回幹事会結果概要

1 日 時 令和2年1月16日(木) 10:00~11:30

2 場 所 京都府亀岡総合庁舎 第2会議室

3 出席者 別添のとおり

4 開催結果の概要

(1) 京都府水道事業広域的連携等推進協議会の設置、運営について

京都府から協議会設置要綱等により説明を行った。

(2) 水道事業の将来の方向性について

各幹事による意見の表明、討論が行われた。

- ・圏域内の各市町がどのような共通の課題を抱えているかを整理し、課題の解決に向けて、様々な分野での広域連携等の検討が必要と考えている。
- ・京都府には広域連携等を推進する効果的な財政支援とともに、アドバイスやリーダーシップを求める。
- ・(亀岡市から南丹市への)水道用水供給事業を進めているところであり、さらに供給区域の拡大等について検討を進めていきたい。
- ・他の圏域と比べてかなり事業者数が少ない中で、取り組みがしやすいといった面もあるが、その反面で情報量や職員の数が少ない。
- ・施設統合や人材の確保などの広域連携について、中部圏域を越えた連携の検討も必要であると考えている。
- ・直営で行っている営業業務等について、業務委託の検討をしており、業務の広域連携の可能性についても検討したい。
- ・料金関係について、水道事業で下水道料金の調定、収納等も行っているため、下水道関連の業務についても広域連携の可能性を探っていきたい。
- ・様々な水道業務の中で1つ2つでも広域連携等を進めることができると非常に期待をしている。
- ・料金徴収業務が強化できるような方向性を打ち出せればと考えている。

(3) 広域連携等の取組について

広域連携等に係る研究会の設置について亀岡市から報告があり、幹事会で確認した。

- ・2市1町の現状としての情報交換や情報共有を進めながら、様々な連携方法について協議を行ってきた。
- ・システムの共同化の研究として、「水道施設台帳システムの共同化に関する研究会」を設置することになった。
- ・あわせて他のシステムや業務についても、広域連携等に関する情報交換や情報共有を今後も引き続き行い、営業業務等の委託に係る連携も含めて、新たな連携事業の可能性について、調査・研究のうえ検討していきたい。

(4) その他

- ・事務局から府内先進事例について報告。
- ・府南丹広域振興局長、府自治振興課及び府企画参事から、府民環境部と連携し、各々の立場から、圏域における水道事業の広域連携等を支援していくとの発言があった。